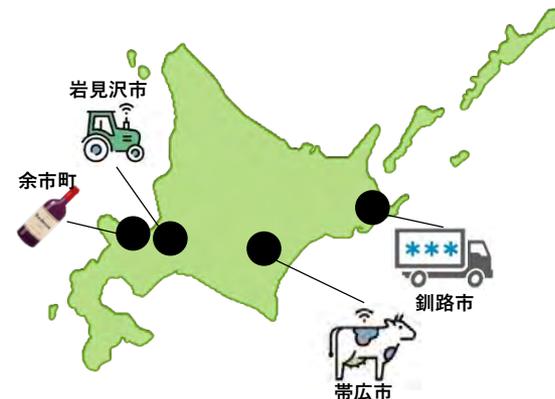


共創の場形成支援プログラム（文部科学省 COI-NEXT **令和3年10月採択**）

共創の場形成支援プログラム



- 国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のあるべき社会像（拠点ビジョン）を策定
- 達成に向けたバックキャストによるイノベーションに資する研究開発と、自立的・持続的な拠点形成のために必要な産学官連携マネジメントシステムの構築を同時並行で推進
- 独自性・強みに基づく産学官共創拠点の形成を推進し、国の成長と地方創生に貢献するとともに、大学等が主導する知識集約型社会への変革を促進



カーボンニュートラル

ワイン

こころとカラダ

全国版 共創の場の「育成型」採択

共創の場形成支援事業（共創分野：育成型）

代表機関 北海道大学

拠点名：地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成

拠点ビジョン

地域エネルギーによる
カーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成

代表機関
国立大学法人 北海道大学 PL 石井一美（説明者）

申請機関（全33機関：予定、協力機関含む）

北海道大学、秋田大学（予定） 北海道、網走市、紋別市、稚内市、釧路市、帯広市（予定） 物産・材料研究機構、北海道立総合研究機構 北海道経済連合会、北海道立生涯学習支援センター、一般財団法人道庁環境・海洋都市推進機構、釧路市工業団地、釧路市エネルギー研究会、北海道総合振興局管内中央会議連携協議会、一般社団法人北海道デジタルコミュニティ推進コンソーシアム（予定）、全道環境バイオマス協議会（予定）	空知電気工業株式会社、株式会社クボタ、株式会社H&B、株式会社NITドコモ北海道支社、株式会社エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、大成建設株式会社札幌支店、いであ株式会社、北海道電力株式会社、岩田地味建設株式会社（予定）、株式会社ドーン、株式会社土谷特殊農機具製作所、文嶋みらい理研会、共同コンクリート工業株式会社、札幌工務株式会社、株式会社岡野エレクトロニクス
--	---

協力機関 農業技術総合研究所北海道センター

共創の場形成支援事業（地域共創分野：育成型）

北海道サステナブル・テロワール共創拠点

風土に根ざした心ゆたかな暮らしを地域の力で創造する

Bio Community 北海道 余市町 G&S産業化設計 北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

地域版 共創の場の「本格型」採択

地域共創の場（本格型）

「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」

Vision 「働き（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現
～こころとカラダの理解を通して、生きるための選択肢を増やす～

代表機関 北海道大学

幹事自治体 岩見沢市

幹事機関 国立成育医療研究センター
北海道
(株) 日立製作所

北海道大学 Bio
PL 吉野正則
PL補佐 黄瀬信之
副PL 玉塚暁子、荒田尚子

R3年度は本学から3件申請し、うち、**2件**が採択された。

まち・ひと・しごと（内閣府 地方大学・地域産業創生交付金 **令和4年2月採択**）

魚介藻類養殖を核とした 持続可能な水産・海洋都市の構築

【計画のポイント】

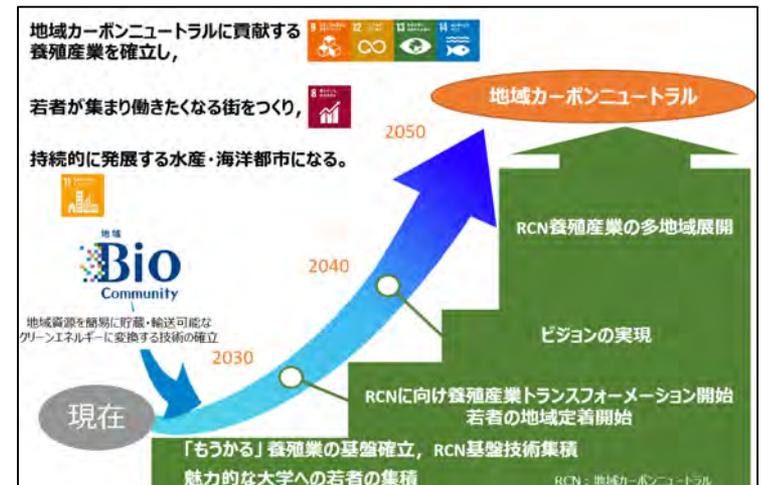
- 漁業主体から『漁業と養殖の両輪で支える海洋環境変動の影響に強い水産業』を地域が一体となって構築
- 二次・三次産業（加工・販売・観光・飲食等）へ波及させる好循環を生み出す等、強靱で高収益な産業構造を創出
- 新産業創出の過程において地域の高等教育・研究機関が『研究開発と一体化した人材育成システム』を構築し、そこで輩出する人材が地域・産業の成長・発展を促進するエコシステムを形成

地域産業への裨益 1stフェーズ

- 海藻養殖から高付加価値化まで一貫したコンブ産業の基盤確立
- 養殖漁業への転換を図る完全養殖技術の確立（国内初のキングサーモン完全養殖）
- 地域水産業共創センター設置による研究開発・人材育成の実施

地域産業への裨益 2ndフェーズ

- コンブ完全養殖 安定供給・拠点形成、食品から高度利用、原料まで一貫生産
- コンブ+サーモン養殖 RCN&ブランド化 函館の養殖海産物を輸出
- 地域・企業の研究開発部として RCN養殖漁業の技術革新
- サーモン養殖産業を主力とし拠点化、産業戦略を統一した小規模経営体群形成
- RCN養殖を理解発展可能な 企画経営戦略能力を持つ人材育成



知の変革～大学とともに創生するデジタル田園都市～（具体事例イメージ） ～デジタル連携による知の循環から生み出す地域活性化～

北海道ユニバーシティアライアンス 構想

（内閣府公表資料：「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」より抜粋）

北海道

～大学を中核に、デジタル連携で産業構造を変革し、現状の産業の延長線ではない新産業創出へ～

大学発
価値創出×人材輩出×地域の強み

1次産業の市町村の集積

- ✓ 農業産出額，食料自給率 200%
- ✓ 漁業：漁獲量 全国 1位

地域産業の優位性①

2次・3次産業の市町村の集積

- ✓ 年間商品販売額 1,000億円以上の市町村：17市
- ✓ 観光意欲度 ランキング：札幌市・函館市 同点1位 小樽市 4位
- ✓ 都道府県魅力度ランキング1位（ブランド総合研究所調査（2021年）12年連続）

地域産業の優位性②

地域人材課題

- ✓ 大学等進学率の地域格差
- ✓ 大学入学定員の不足
- ✓ 産業のデジタルシフトを牽引する人材の不足

解決

社会実装を加速するデータ駆動型融合研究の推進

＞データ駆動型融合研究創発拠点を設立・運営

地域の中核大学と連携大学による日本で1位のデータ駆動型融合研究の実績



デジタル連携により地域の強みや特色を効果的に発展させるデータ駆動型融合研究

- ✓ 1次産業×情報
- ✓ 土木インフラ×情報
- ✓ 内閣府「地域バイオコミュニティの形成」に認定
 - ・一次産業のスマート化
 - ・環境に配慮した生産技術
 - ・北海道バイオブランドの確立

研究DX

【具体例A】地域産業の優位性と環境の優位性を最大限に発揮する新科学技術領域の創成基盤

- ✓ 実証・社会実装を目指す先端研究・先端技術開発デジタル基盤
- ✓ データ駆動型 地域大学発スタートアップ創出

【具体例B】地域デジタル防災基盤

データ連携による地域デジタルインフラの構築

- ✓ 防災レジリエンス

2018年9月6日北海道胆振東部地震 最大震度7 北海道全域の停電 電力・交通・情報通信が同時に被害（農林水産関係 二次被害含む被害額 1,145億円）農林水産省調べ

地域DX

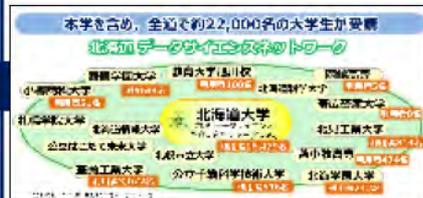
【具体例C】地域デジタル産業支援基盤

冷涼な気候による電力消費を抑えたデータセンター の設置

- ✓ ハイパースケールデータセンター機能の実現
- ✓ 先端AI研究の実証・社会実装拠点の形成

「地域データサイエンス・AI教育」・「高度デジタル人材育成」の推進

＞道内16の大学・高専が参画する「北海道データサイエンスネットワーク」を設立・運営



地域の中核大学と連携大学によるデータサイエンス・AI教育の実績

※左図は、北海道大学 数理・データサイエンスプラットフォームの利用実績

【具体例D】デジタル人材の輩出「DX教育基盤」

- ✓ 高校等における情報科目の設計と実施への参画
- ✓ データサイエンス・AIに関するオンライン教育基盤

教育DX

【具体例E】高度デジタル人材の地域定着「DX人材育成基盤」

- ✓ 地域産業人材のデジタルリカレント教育
- ✓ エキスパート人材の養成